

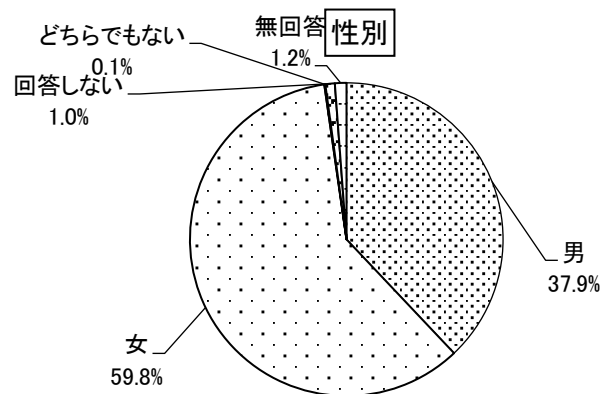
【5.市民調査】

3. 5 市民調査

1 あなたのことについて

問1 あなたの性別に○をつけてください。

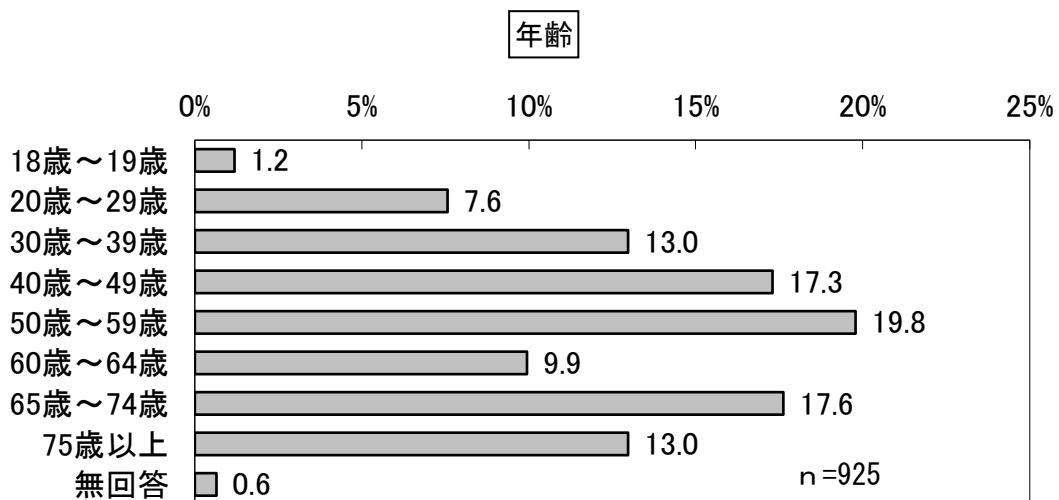
性別については、「女」が59.8%、「男」が37.9%となっている。



n=925

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

年齢については、「50歳～59歳」が19.8%と最も高く、次いで「65歳～74歳」が17.6%、「40歳～49歳」が17.3%となっている。

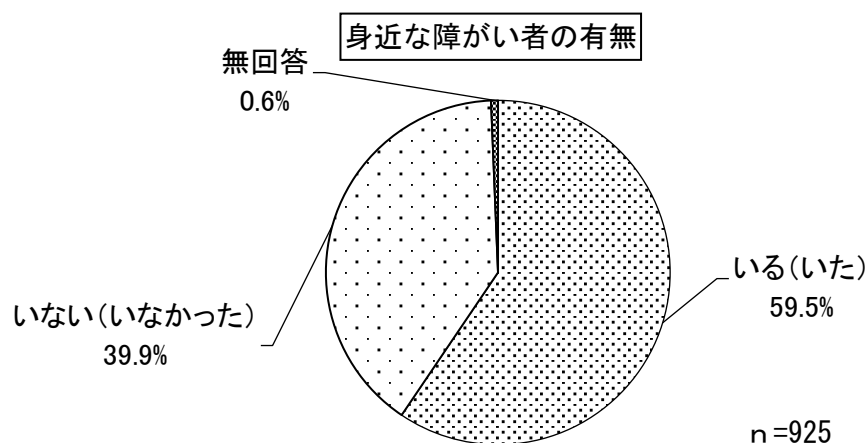


n=925

2 障がいのある人とのかかわりについて

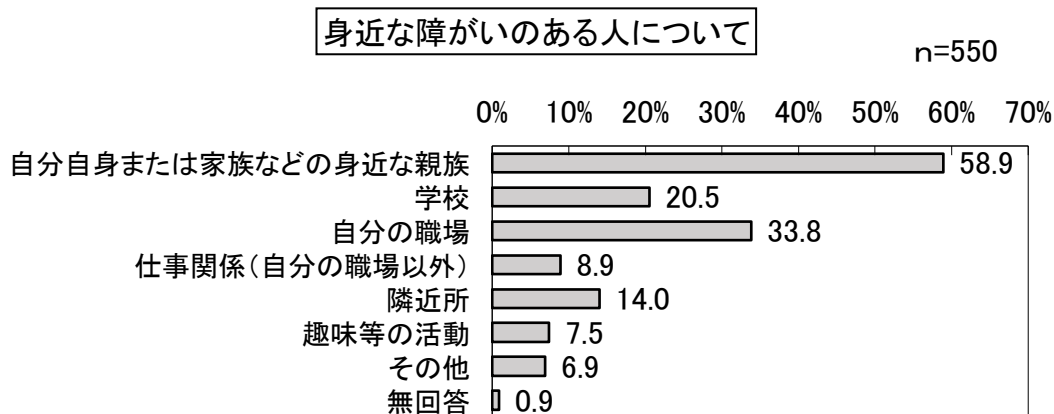
問3 あなたの身近に障がいのある人はいますか、または、これまでいたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

身近な障がい者の有無については、「いる(いた)」が59.5%と最も高く、次いで「いない(いなかった)」が39.9%、「無回答」が0.6%となっている。



問4 《問3で「いる(いた)」と回答した方にお聞きします》
あなたの身近にいる(いた)障がいのある人は、どのようなところにいますか(いましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

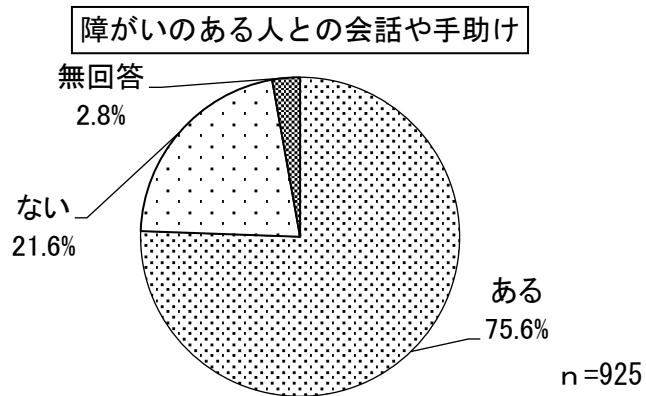
身近な障がいのある人については、「自分自身または家族などの身近な親族」が58.9%と最も高く、次いで「自分の職場」が33.8%、「学校」が20.5%となっている。



【5.市民調査】

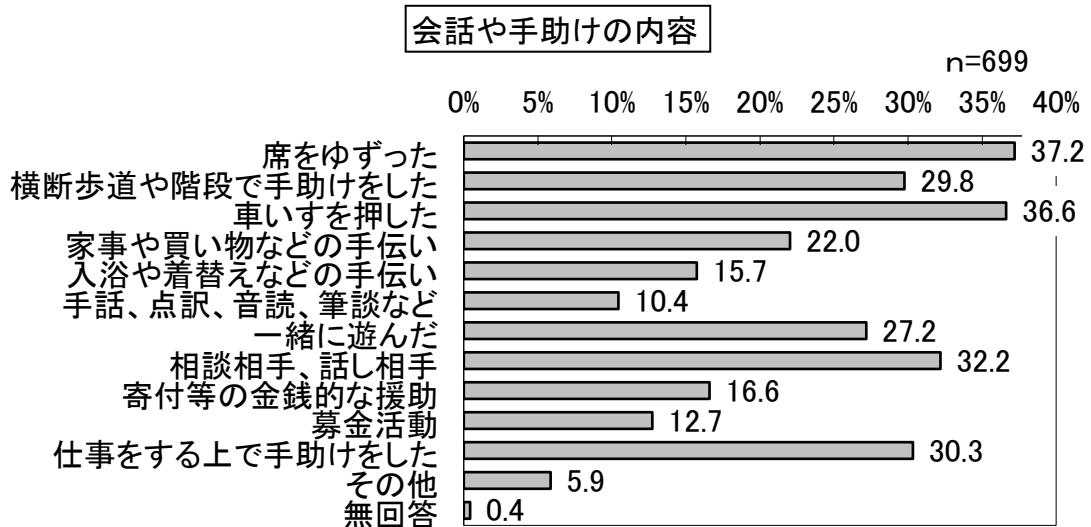
あなたはこれまで、実際に障がいのある人と話したり、障がいのある人の手助けをしたりしたことがありますか(募金も含みます)。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人との会話や手助けについては、「ある」が75.6%と最も高く、次いで「ない」が21.6%、「無回答」が2.8%となっている。



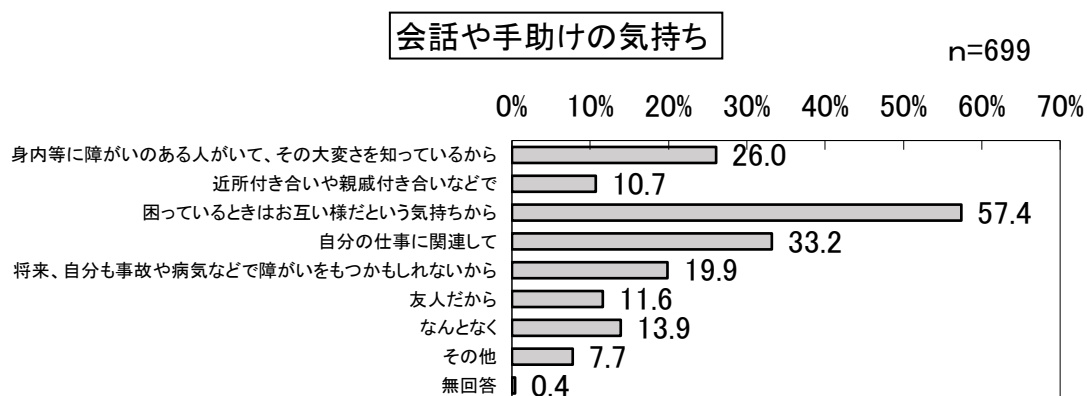
問6-1 《問5で「ある」と回答した方にお聞きします》
それは、どのような話や手助けでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

会話や手助けの内容については、「席をゆずった」が37.2%と最も高く、次いで「車いすを押した」が36.6%、「相談相手、話し相手」が32.2%となっている。



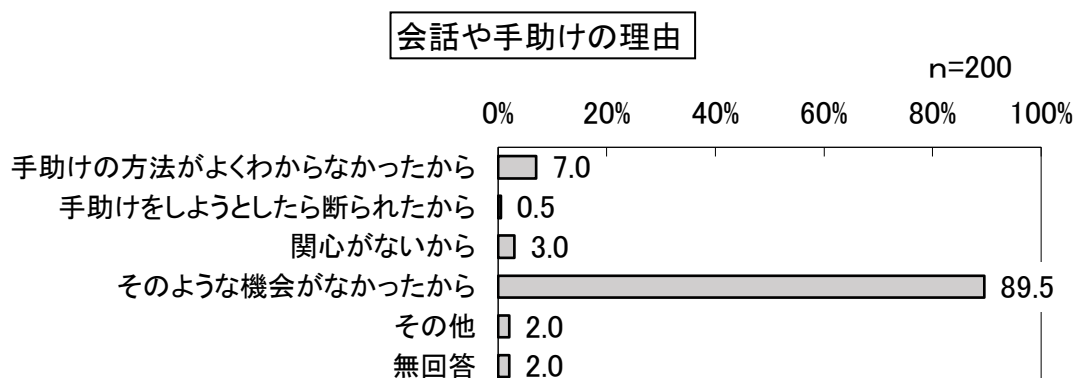
問6 - それは、どのような気持ちからでしょうか。あてはまるものすべて
2 に○をつけてください。【複数回答】

会話や手助けの気持ちについては、「困っているときはお互い様だという気持ちから」が57.4%と最も高く、次いで「自分の仕事に関連して」が33.2%、「身内等に障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」が26.0%となっている。



問7 - 《問5で「ない」と回答した方にお聞きします》
1 それは、どうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

会話や手助けの理由については、「そのような機会がなかったから」が89.5%と最も高く、次いで「手助けの方法がよくわからなかったから」が7.0%、「関心がないから」が3.0%となっている。

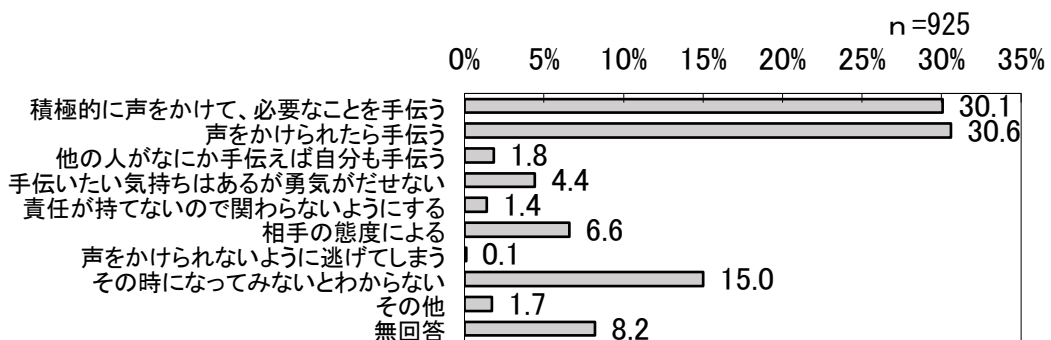


【5.市民調査】

問7-2 あなたは、困っている障がいのある人と出会った時に、どうしますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

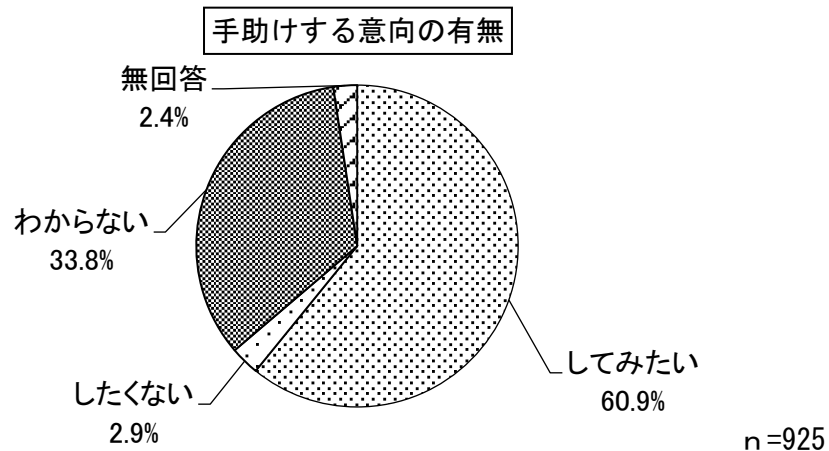
困っている障がいのある人と出会ったときの行動については、「声をかけられたら手伝う」が30.6%と最も高く、次いで「積極的に声をかけて、必要なことを手伝う」が30.1%、「その時になってみないとわからない」が15.0%となっている。

困っている障がいのある人と出会ったときの行動



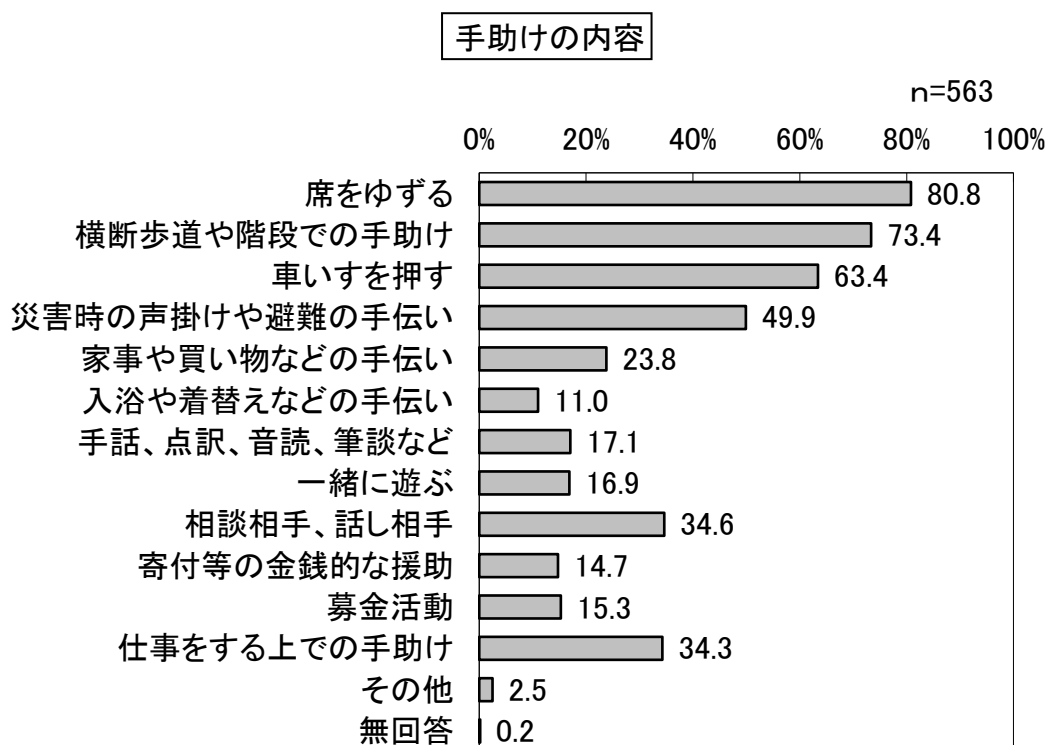
問7-3 あなたは今後、自分のできる範囲で、障がいのある人の手助けなどをしてみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

手助けする意向の有無については、「してみたい」が60.9%と最も高く、次いで「わからない」が33.8%、「したくない」が2.9%となっている。



問7-4 《問7-3で「してみたい」と回答した方にお聞きします》
それは、どのような手助けですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

手助けの内容については、「席をゆずる」が80.8%と最も高く、次いで「横断歩道や階段での手助け」が73.4%、「車いすを押す」が63.4%となっている。



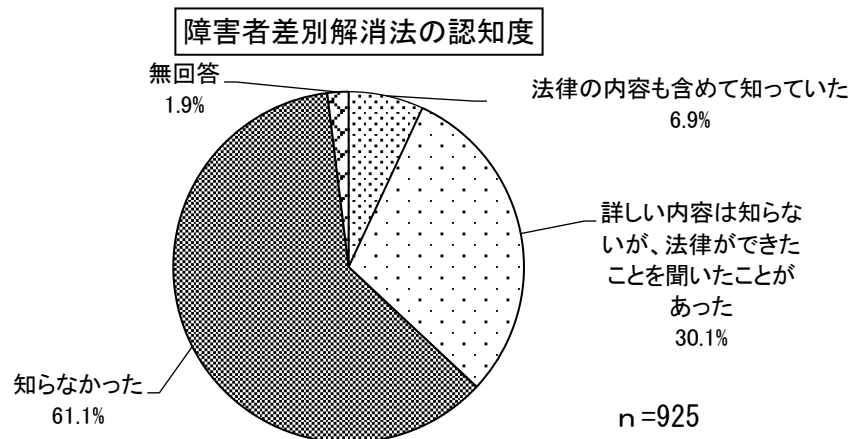
【5.市民調査】

3 障害者差別解消法について

問8

国や地方公共団体、民間事業者に、障がいのある方に対する差別的取扱いを禁止し、差別を解消するための措置などを規定した障害者差別解消法について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障害者差別解消法の認知度については、「知らなかった」が61.1%と最も高く、次いで「詳しい内容は知らないが、法律ができたことを聞いたことがあった」が30.1%、「法律の内容も含めて知っていた」が6.9%となっている。

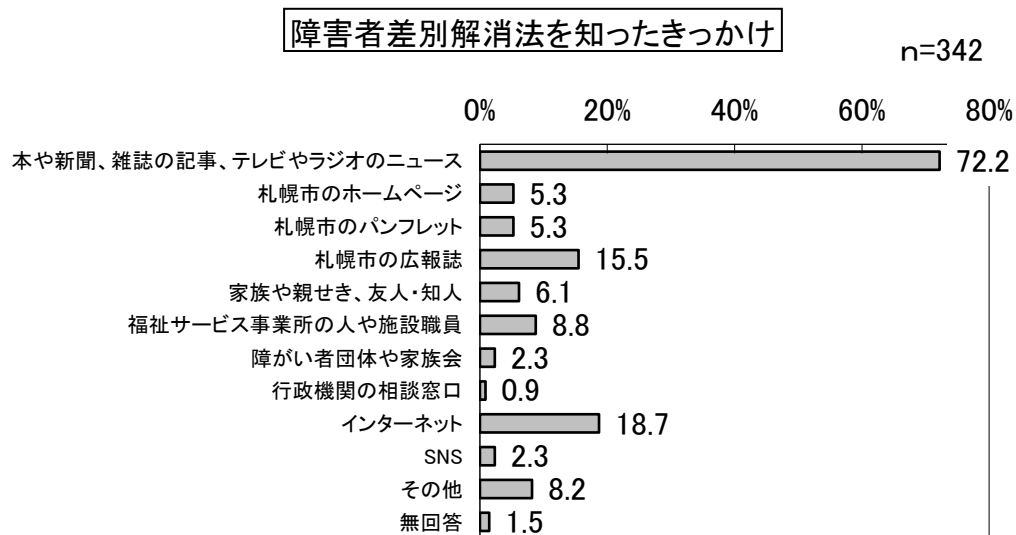


年齢別にみると、すべての年齢層で「知らなかった」が最も高くなっている。

	問8国や地方公共団体、民間事業者に、障がいのある方に対する差別的取扱いを禁止し、差別を解消するための措置などを規定した障害者差別解消法について知っていましたか			
	法律の内容も含めて知っていた	詳しい内容は知らないが、法律ができたことを聞いたことがあった	知らなかった	無回答
全体	6.9%	30.1%	61.1%	1.9%
18歳～19歳	9.1%	36.4%	54.5%	0.0%
20歳～19歳	12.9%	25.7%	61.4%	0.0%
30歳～39歳	7.5%	15.8%	75.8%	0.8%
40歳～49歳	6.3%	21.3%	71.3%	1.3%
50歳～59歳	8.2%	27.3%	62.3%	2.2%
60歳～64歳	4.3%	35.9%	59.8%	0.0%
65歳～74歳	6.1%	44.2%	48.5%	1.2%
75歳以上	5.0%	39.2%	49.2%	6.7%
無回答	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%

《問8で「法律の内容も含めて知っていた」または「詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことはあった」と回答した方9 方にお聞きします》
 あなたは、「障害者差別解消法」を何で知りましたか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。【複数回答】

障害者差別解消法を知ったきっかけについては、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が72.2%と最も高く、次いで「インターネット」が18.7%、「札幌市の広報誌」が15.5%となっている。【複数回答】



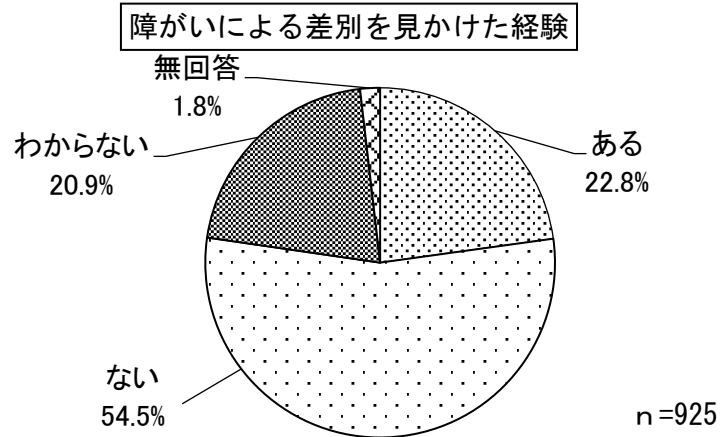
年齢別にみると、すべての年齢層で「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が最も高くなっている。

問9あなたは障害者差別解消法を何で知りましたか												
	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	札幌市のホームページ	札幌市のパンフレット	札幌市の広報誌	家族や親せき、友人・知人	福祉サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会	行政機関の相談窓口	インターネット	SNS	その他	無回答
全体	72.2%	5.3%	5.3%	15.5%	6.1%	8.8%	2.3%	0.9%	18.7%	2.3%	8.2%	1.5%
18歳～19歳	80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳～19歳	48.1%	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%	18.5%	3.7%	0.0%	37.0%	11.1%	25.9%	0.0%
30歳～39歳	50.0%	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	35.7%	3.6%	3.6%	0.0%
40歳～49歳	61.4%	4.5%	2.3%	6.8%	9.1%	4.5%	6.8%	0.0%	20.5%	2.3%	22.7%	0.0%
50歳～59歳	70.8%	9.2%	1.5%	7.7%	6.2%	3.1%	0.0%	0.0%	16.9%	3.1%	10.8%	1.5%
60歳～64歳	78.4%	2.7%	0.0%	21.6%	2.7%	10.8%	0.0%	0.0%	18.9%	0.0%	2.7%	0.0%
65歳～74歳	82.9%	1.2%	4.9%	22.0%	7.3%	9.8%	3.7%	1.2%	12.2%	0.0%	1.2%	2.4%
75歳以上	84.9%	7.5%	20.8%	32.1%	7.5%	7.5%	1.9%	3.8%	7.5%	1.9%	1.9%	3.8%
無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【5.市民調査】

問 10 あなたは過去3年間に、障がいを理由とした差別を見たことや聞いたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

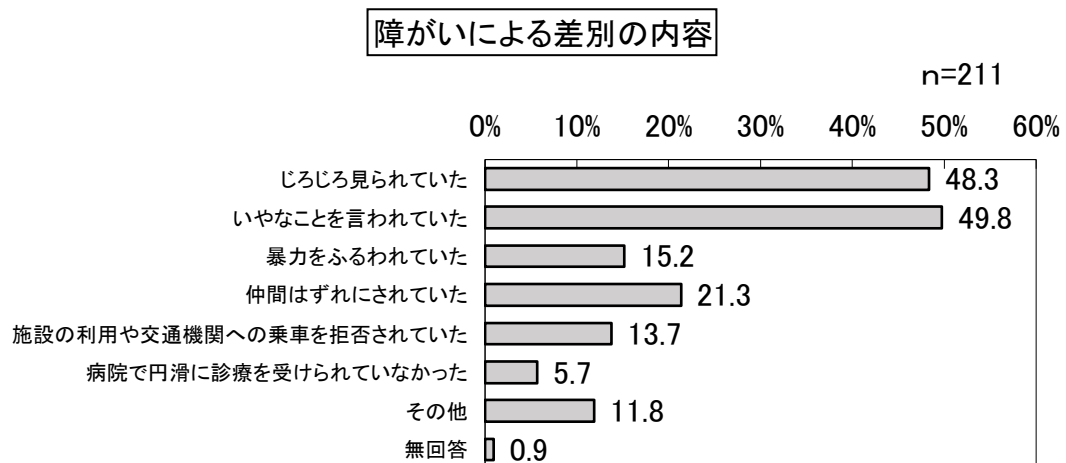
障がいによる差別を見かけた経験については、「ない」が54.5%と最も高く、次いで「ある」が22.8%、「わからない」が20.9%となっている。



《問10で「ある」と回答した方にお聞きします》

問 11 それは、どのような内容でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

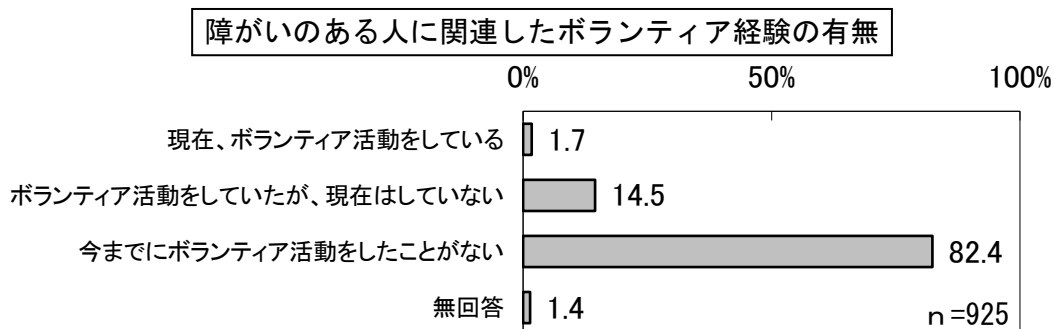
障がいによる差別の内容については、「いやなことを言われていた」が49.8%と最も高く、次いで「じろじろ見られていた」が48.3%、「仲間はずれにされていた」が21.3%となっている。



4 ボランティア活動について

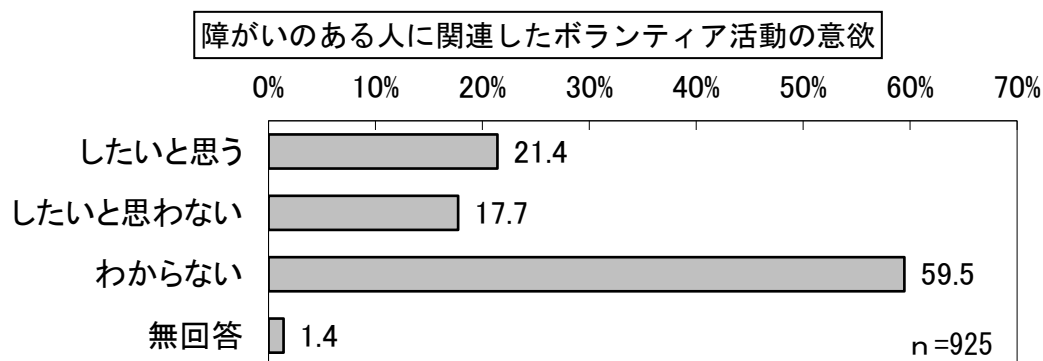
問 12 あなたは、障がいのある人に関わるボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に関連したボランティア経験の有無については、「今までにボランティア活動をしたことがない」が82.4%と最も高く、次いで「ボランティア活動をしていたが、現在はしていない」が14.5%、「現在、ボランティア活動をしている」が1.7%となっている。



問 13 あなたは、今後、障がいのある人と関わるボランティア活動をしたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

障がいのある人に関連したボランティア活動の意欲については、「わからない」が59.5%と最も高く、次いで「したいと思う」が21.4%、「したいと思わない」が17.7%となっている。

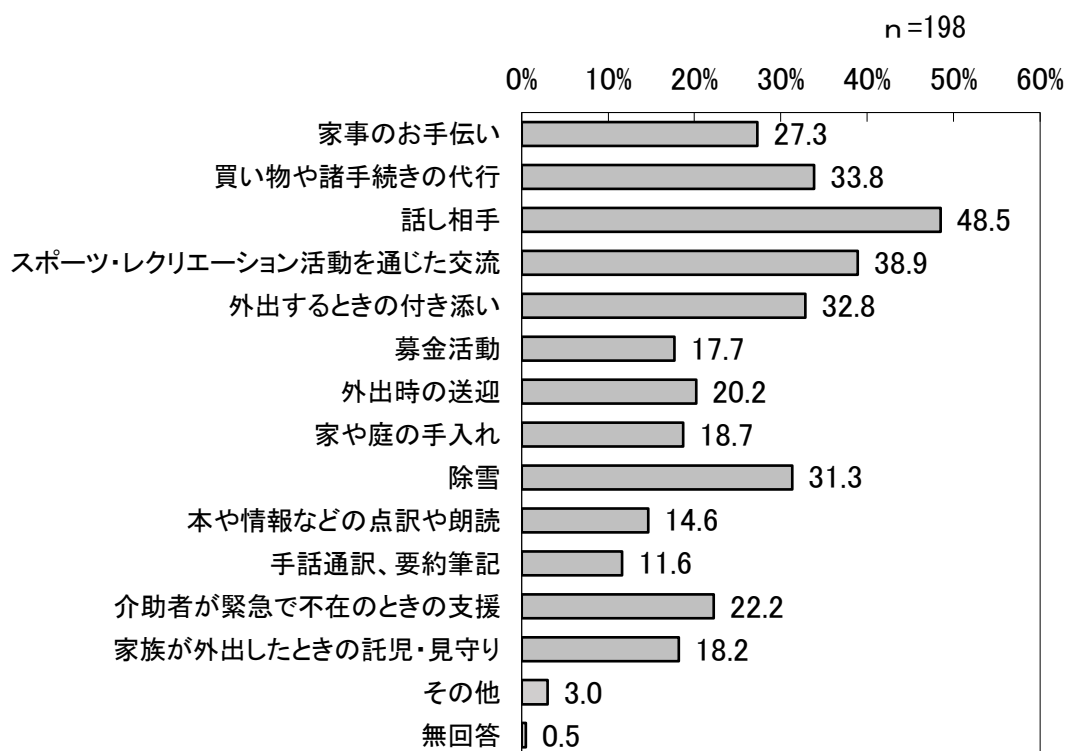


【5.市民調査】

《問 13 で「したいと思う」と回答した方にお聞きします》
問 14 それは、どのような活動ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

ボランティア活動の内容については、「話し相手」が 48.5%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流」が 38.9%、「買い物や諸手続きの代行」が 33.8%となっている。

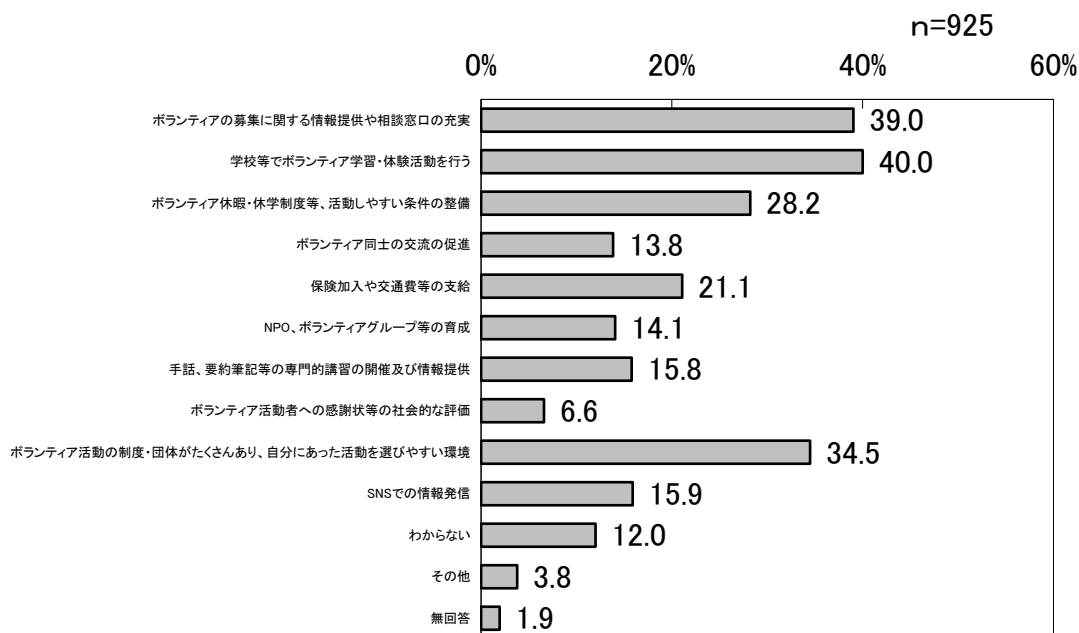
ボランティア活動の内容



あなたは、障がいのある人と関わるボランティア活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

ボランティア活動を活発にするための必要事項については、「学校等でボランティア学習・体験活動を行う」が40.0%と最も高く、次いで「ボランティアの募集に関する情報提供や相談窓口の充実」が39.0%、「ボランティア活動の制度・団体がたくさんあり、自分にあった活動を選びやすい環境」が34.5%となっている。

ボランティア活動を活発にするための必要事項

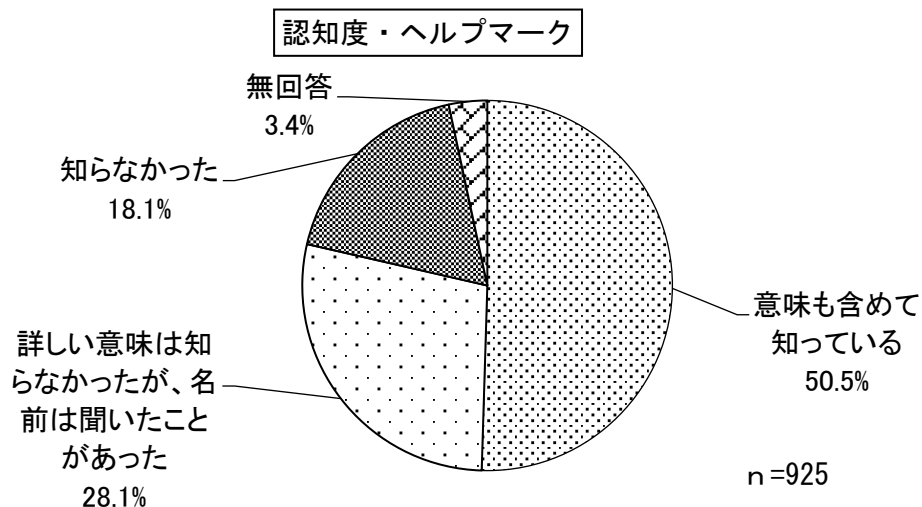


【5.市民調査】

5 札幌市の施策について

あなたは、下表にある施策等について、知っていましたか。それぞれ
 問 16 の、あてはまるもの1つに○をつけてください。
 (ヘルプマークについて)

ヘルプマークについては、「意味も含めて知っている」が50.5%と最も高く、次いで「詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった」が28.1%、「知らなかった」が18.1%となっている。

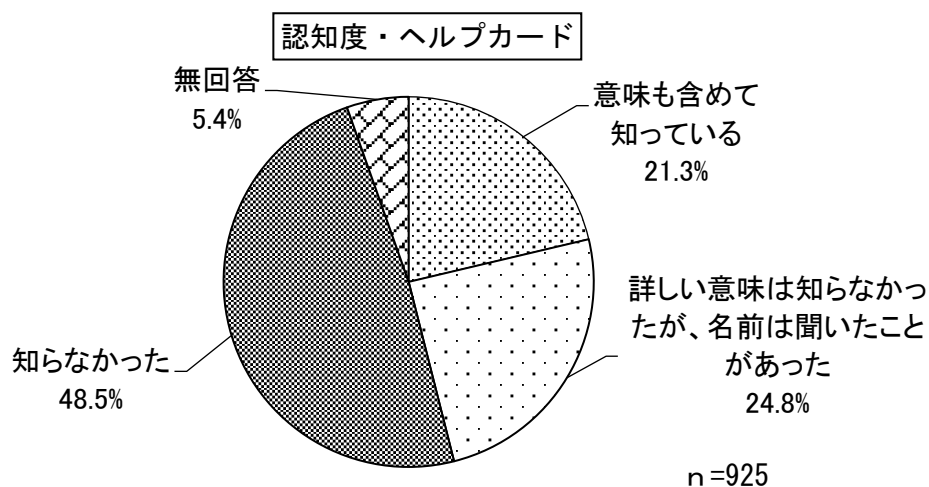


年齢別にみると、「75歳以上」では「知らなかった」の回答割合が最も高く、それ以外の年齢層では「意味も含めて知っている」が最も高くなっている。

	問16ヘルプマーク			
	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった	無回答
全体	50.5%	28.1%	18.1%	3.4%
18歳～19歳	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
20歳～19歳	70.0%	18.6%	11.4%	0.0%
30歳～39歳	56.7%	30.0%	13.3%	0.0%
40歳～49歳	58.1%	27.5%	13.8%	0.6%
50歳～59歳	53.0%	27.9%	18.0%	1.1%
60歳～64歳	51.1%	30.4%	16.3%	2.2%
65歳～74歳	41.7%	30.7%	20.9%	6.7%
75歳以上	29.2%	29.2%	30.0%	11.7%
無回答	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%

問17 (ヘルプカードについて)

ヘルプカードについては、「知らなかった」が48.5%と最も高く、次いで「詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった」が24.8%、「意味も含めて知っている」が21.3%となっている。



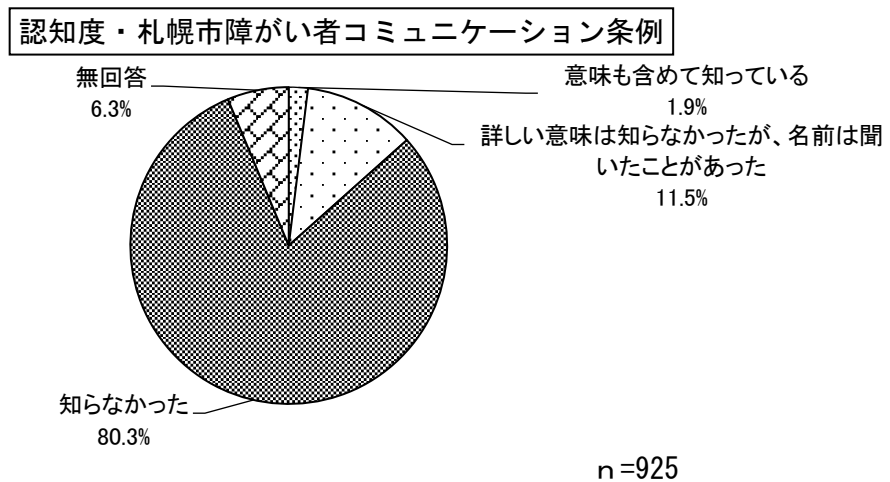
年齢別にみると、すべての年齢層で「知らなかった」が最も高くなっている。

	問17ヘルプカード			
	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった	無回答
全体	21.3%	24.8%	48.5%	5.4%
18歳～19歳	18.2%	27.3%	54.5%	0.0%
20歳～19歳	32.9%	17.1%	50.0%	0.0%
30歳～39歳	30.8%	22.5%	46.7%	0.0%
40歳～49歳	23.1%	21.9%	52.5%	2.5%
50歳～59歳	24.6%	28.4%	44.8%	2.2%
60歳～64歳	16.3%	31.5%	47.8%	4.3%
65歳～74歳	16.0%	28.8%	46.6%	8.6%
75歳以上	9.2%	20.0%	52.5%	18.3%
無回答	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%

【5.市民調査】

問 18 （札幌市障がい者コミュニケーション条例について）

札幌市障がい者コミュニケーション条例については、「知らなかった」が80.3%と最も高く、次いで「詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった」が11.5%、「意味も含めて知っている」が1.9%となっている。

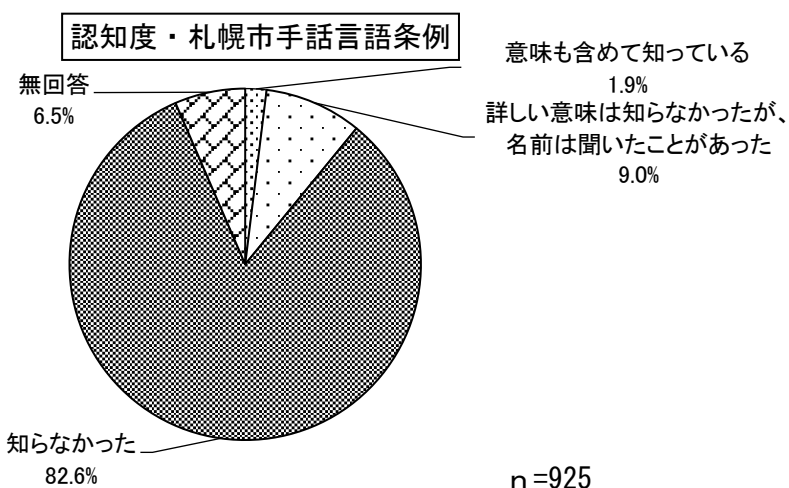


年齢別にみると、すべての年齢層で「知らなかった」が最も高くなっている。

	問18札幌市障がい者コミュニケーション条例			
	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった	無回答
全体	1.9%	11.5%	80.3%	6.3%
18歳～19歳	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
20歳～19歳	2.9%	15.7%	81.4%	0.0%
30歳～39歳	2.5%	8.3%	89.2%	0.0%
40歳～49歳	0.0%	7.5%	90.0%	2.5%
50歳～59歳	3.8%	12.0%	82.0%	2.2%
60歳～64歳	1.1%	17.4%	76.1%	5.4%
65歳～74歳	1.8%	14.7%	74.2%	9.2%
75歳以上	0.8%	7.5%	68.3%	23.3%
無回答	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%

問 19 （札幌市手話言語条例について）

札幌市手話言語条例については、「知らなかった」が82.6%と最も高く、次いで「詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった」が9.0%、「意味も含めて知っている」が1.9%となっている。



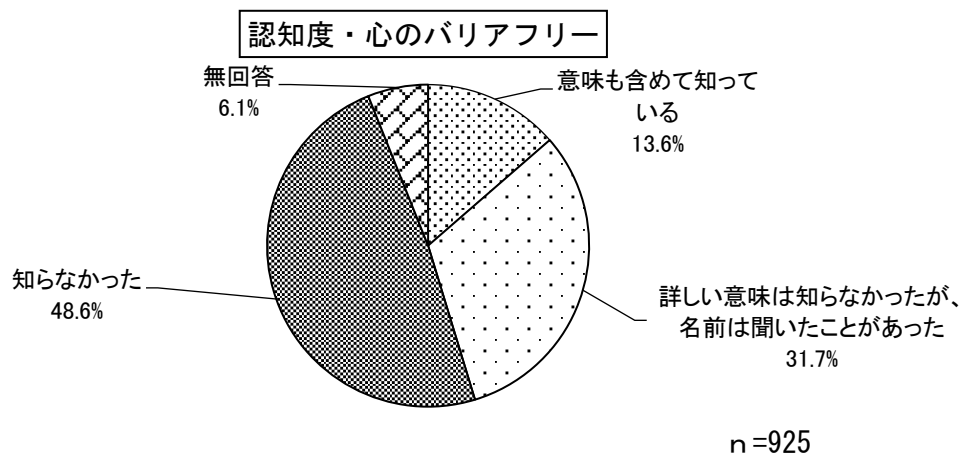
年齢別にみると、すべての年齢層で「知らなかった」が最も高くなっている。

	問19札幌市手話言語条例			
	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった	無回答
全体	1.9%	9.0%	82.6%	6.5%
18歳～19歳	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
20歳～19歳	1.4%	10.0%	88.6%	0.0%
30歳～39歳	1.7%	8.3%	90.0%	0.0%
40歳～49歳	0.0%	2.5%	94.4%	3.1%
50歳～59歳	4.9%	10.9%	82.0%	2.2%
60歳～64歳	1.1%	13.0%	80.4%	5.4%
65歳～74歳	2.5%	12.3%	76.1%	9.2%
75歳以上	0.0%	6.7%	69.2%	24.2%
無回答	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%

【5.市民調査】

問 20 (心のバリアフリーについて)

心のバリアフリーについては、「知らなかった」が48.6%と最も高く、次いで「詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった」が31.7%、「意味も含めて知っている」が13.6%となっている。

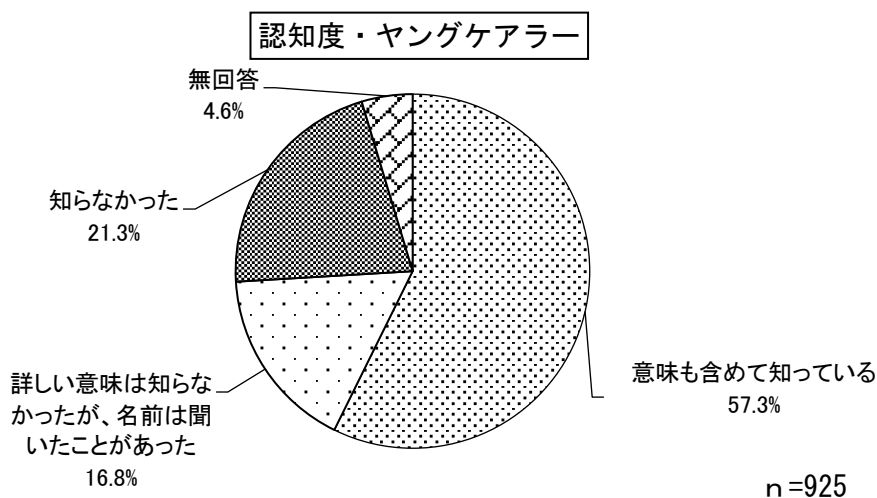


年齢別にみると、「18歳～19歳」および「20歳～29歳」では「意味も含めて知っている」と「詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった」の回答割合が高くなっているが、それ以外の年齢層では「知らなかった」の割合が高くなっている。

	問20心のバリアフリー			
	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった	無回答
全体	13.6%	31.7%	48.6%	6.1%
18歳～19歳	36.4%	36.4%	27.3%	0.0%
20歳～19歳	28.6%	48.6%	22.9%	0.0%
30歳～39歳	14.2%	35.8%	50.0%	0.0%
40歳～49歳	15.6%	25.0%	56.9%	2.5%
50歳～59歳	14.8%	33.3%	49.7%	2.2%
60歳～64歳	9.8%	38.0%	46.7%	5.4%
65歳～74歳	9.8%	29.4%	52.1%	8.6%
75歳以上	5.8%	23.3%	48.3%	22.5%
無回答	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%

問 21 (ヤングケアラーについて)

ヤングケアラーについては、「意味も含めて知っている」が57.3%と最も高く、次いで「知らなかった」が21.3%、「詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった」が16.8%となっている。



年齢別にみると、「75歳以上」では「知らなかった」の回答割合が最も高く、それ以外の年齢層では「意味も含めて知っている」の割合が最も高くなっている。

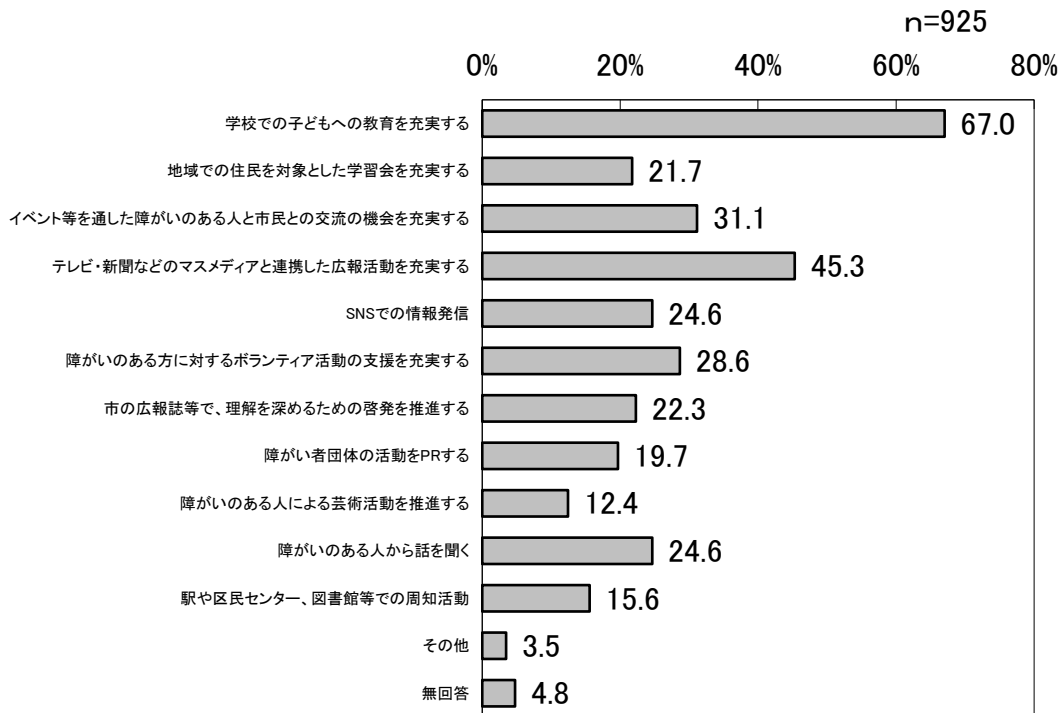
	問21ヤングケアラー			
	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった	無回答
全体	57.3%	16.8%	21.3%	4.6%
18歳～19歳	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%
20歳～19歳	60.0%	15.7%	24.3%	0.0%
30歳～39歳	59.2%	12.5%	28.3%	0.0%
40歳～49歳	69.4%	13.1%	16.3%	1.3%
50歳～59歳	68.9%	9.8%	19.1%	2.2%
60歳～64歳	63.0%	19.6%	13.0%	4.3%
65歳～74歳	48.5%	29.4%	17.2%	4.9%
75歳以上	28.3%	16.7%	35.8%	19.2%
無回答	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%

【5.市民調査】

あなたは、「心のバリアフリー」を推進し、障がいのある人に対する
 問 22 理解を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。
 あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

障がいのある人への理解を深めるための必要な取組については、「学校での子どもへの教育を充実する」が67.0%と最も高く、次いで「テレビ・新聞などのマスメディアと連携した広報活動を充実する」が45.3%、「イベント等を通じた障がいのある人と市民との交流の機会を充実する」が31.1%となっている。

「心のバリアフリー」を推進し、障がいのある人に対する
 理解を深めるための必要な取組

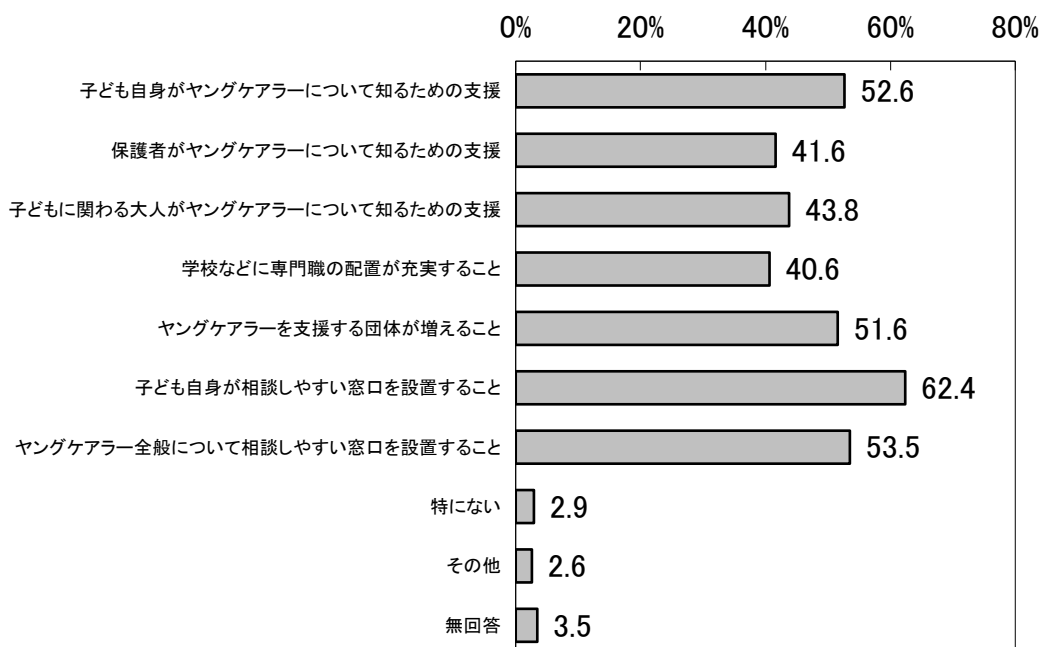


問 23 あなたは、ヤングケアラーについて、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。【複数回答】

ヤングケアラーへ必要な支援については、「子ども自身が相談しやすい窓口を設置すること」が62.4%と最も高く、次いで「ヤングケアラー全般について相談しやすい窓口を設置すること」が53.5%、「子ども自身がヤングケアラーについて知るための支援」が52.6%となっている。

ヤングケアラーへ必要な支援

n=925

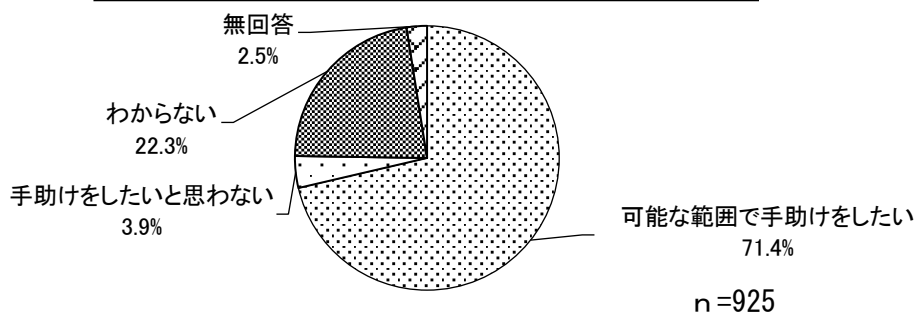


【5.市民調査】

あなたは、地震等の災害があったとき、近所に住む障がいのある人の
問 24 手助けをしたいと思いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてく
ださい。

災害時に障がいのある人の手助け意向については、「可能な範囲で手助け
をしたい」が 71.4%と最も高く、次いで「わからない」が 22.3%、「手助け
をしたいと思わない」が 3.9%となっている。

災害時に近隣の障がいのある人を手助けする意向

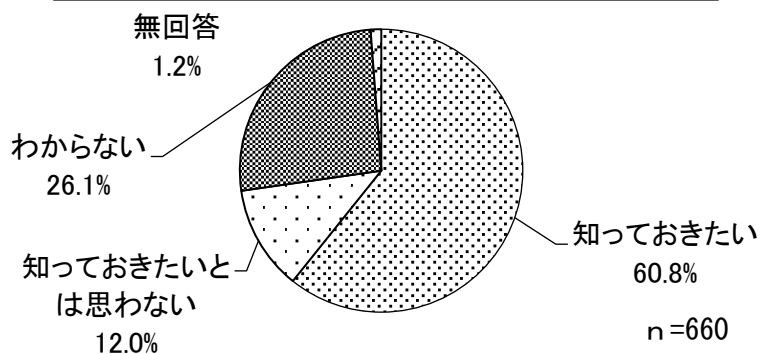


《問 24 で「可能な範囲で手助けをしたい」と回答した方にお聞きし
ます》

問 25 あなたは、災害があったときに手助けできるよう、近所に住む障がい
のある人のことを知っておきたいと思いませんか。あてはまるもの 1 つ
に○をつけてください。

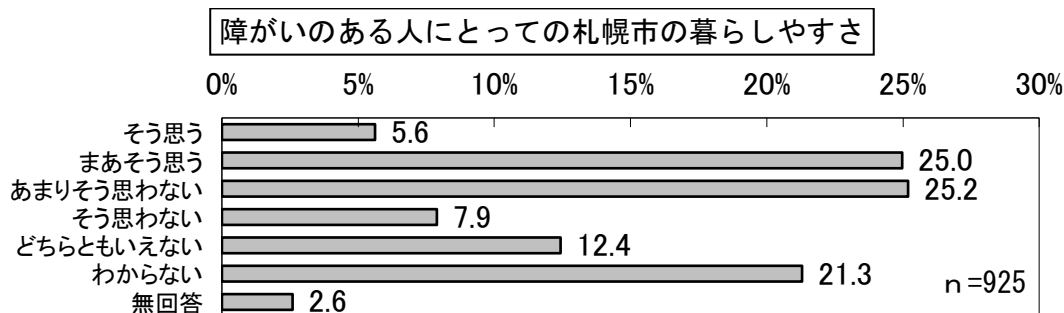
近所に住む障がいのある人のことについては、「知っておきたい」が
60.8%と最も高く、次いで「わからない」が 26.1%、「知っておきたいとは
思わない」が 12.0%となっている。

災害時に向けた近所に住む障がいのある人の情報



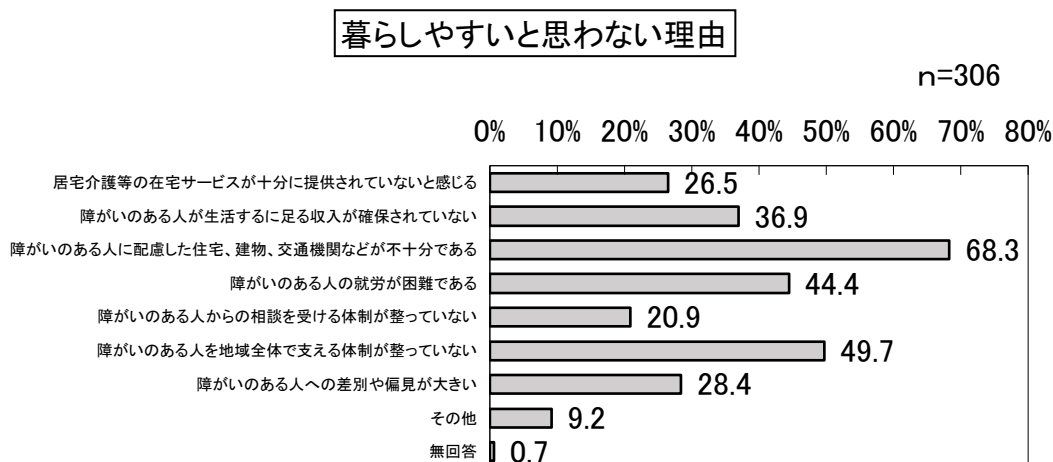
あなたは、札幌市が、障がいのある人にとって地域で普通に暮らしやすい都市であると思いますか。あてはあるもの 1 つに○をつけてください。

障がいのある人にとっての札幌市の暮らしやすさについては、「あまりそう思わない」が 25.2%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 25.0%、「わからない」が 21.3%となっている。



《問 26 で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した方にお聞きします》
 問 27 そう思わない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

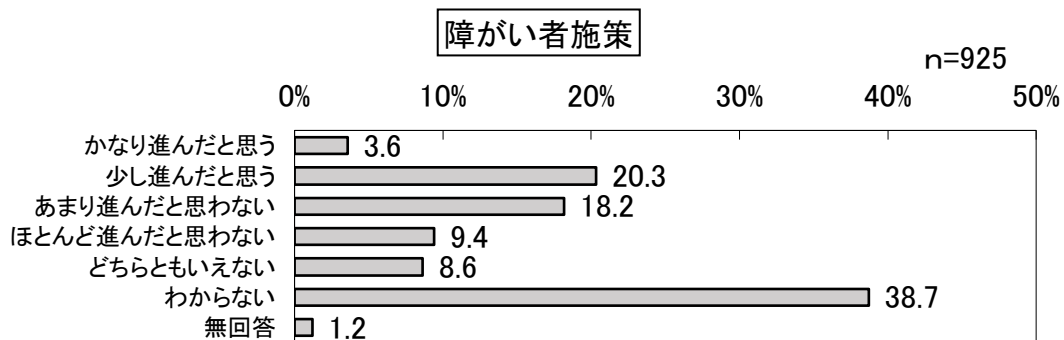
暮らしやすいと思わない理由については、「障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などが不十分である」が 68.3%と最も高く、次いで「障がいのある人を地域全体で支える体制が整っていない」が 49.7%、「障がいのある人の就労が困難である」が 44.4%となっている。



【5.市民調査】

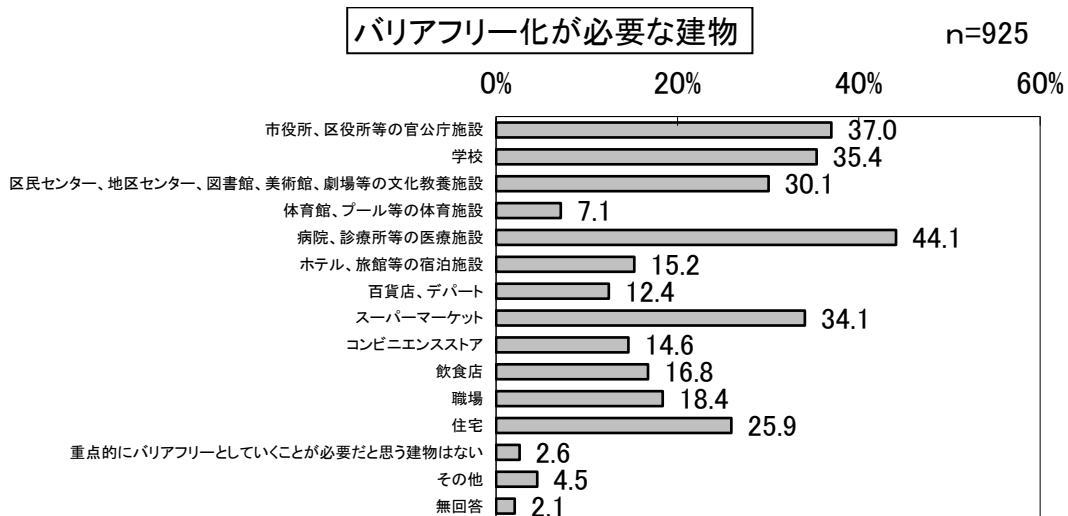
あなたは、3年前と比べて、福祉・教育・まちづくりなどの障がい者
 問 28 施策は進んだと思いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてくだ
 さい。

障がい者施策についてについては、「わからない」が 38.7%と最も高く、次
 いで「少し進んだと思う」が 20.3%、「あまり進んだと思わない」が 18.2%
 となっている。



あなたは今後、特にどの建物を重点的にバリアフリーとしていくこと
 問 29 が必要だと思いますか。あてはまるものを 3 つまで選んで○をつけて
 ください。【複数回答】

バリアフリー化が必要な建物については、「病院、診療所等の医療施設」
 が 44.1%と最も高く、次いで「市役所、区役所等の官公庁施設」が 37.0%、
 「学校」が 35.4%となっている。

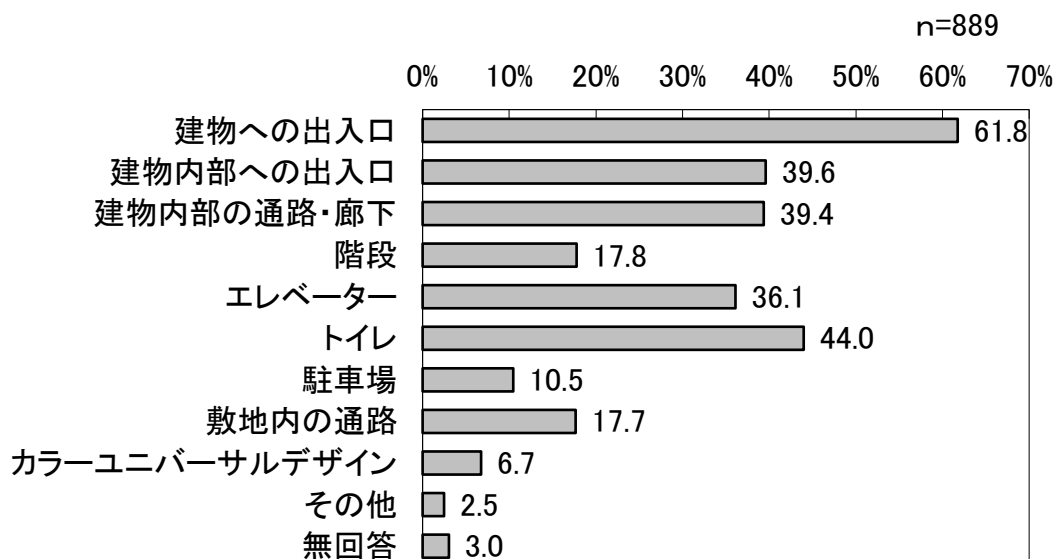


《問 29 で「重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思う建物はない」以外を1つでも選んだ人にお聞きします》

問 30 あなたは、問 29 で選択した建物について、今後、特にどの設備を重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。【複数回答】

バリアフリー化が必要な設備については、「建物への出入口」が61.8%と最も高く、次いで「トイレ」が44.0%、「建物内部への出入口」が39.6%となっている。

バリアフリー化が必要な設備

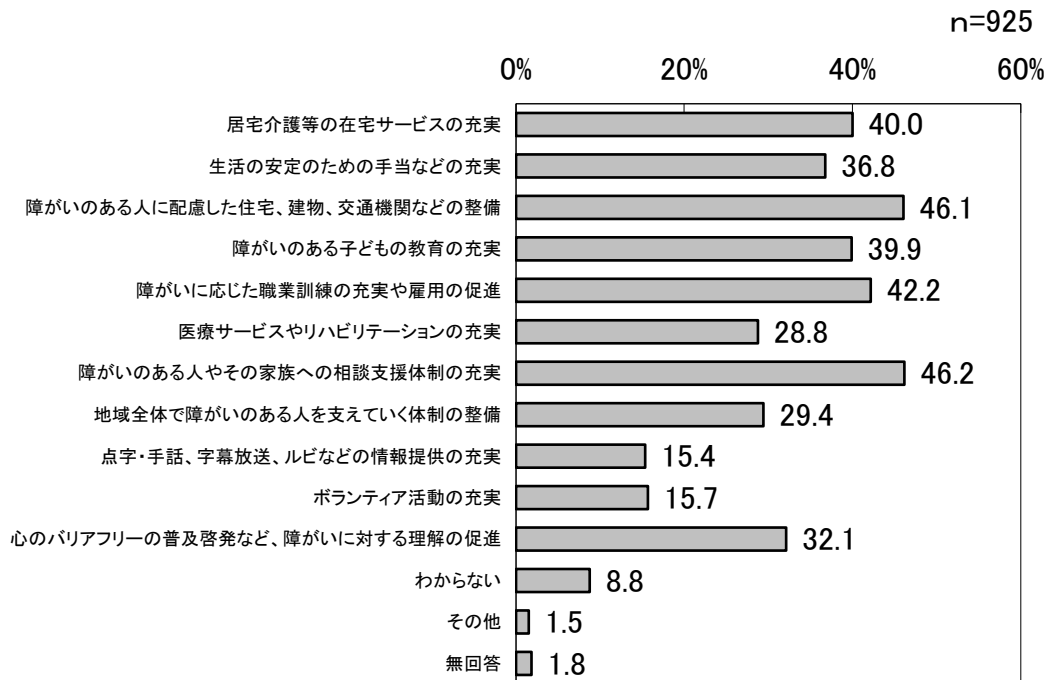


【5.市民調査】

問 31 障がいのある人に関する施策のうち、札幌市がもっと力を入れる必要があるとあなたが思うものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

札幌市が注力すべき障がいのある人への施策については、「障がいのある人やその家族への相談支援体制の充実」が46.2%と最も高く、次いで「障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などの整備」が46.1%、「障がいに応じた職業訓練の充実や雇用の促進」が42.2%となっている。

札幌市が注力すべき障がいのある人への施策

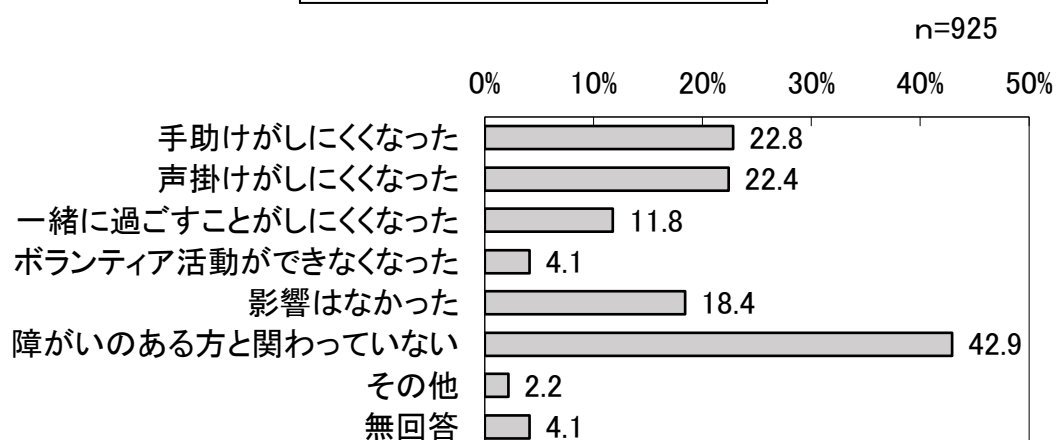


6 新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症により、障がいのある方との関わりにどのような影響がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。【複数回答】

新型コロナウイルス感染症の影響については、「障がいのある方と関わっていない」が42.9%と最も高く、次いで「手助けがしにくくなった」が22.8%、「声掛けがしにくくなった」が22.4%となっている。

新型コロナウイルス感染症の影響



【5.市民調査】

問 33 新型コロナウイルス感染症について、札幌市に望む障がいのある方への支援があれば教えてください。【自由記述】

新型コロナウイルス感染症で望む支援については、83件（回答件数925件の9.0%）の回答が寄せられた。回答の一部を以下に抜粋する。

- ワクチン接種の予約をスムーズにしてほしい。
- 親戚に障がいのある人がいたので関わっていたが、今は自身のことをやるので精一杯で人助けをできる状況ではない。
- コロナ感染の不安から障がいがある方も無い方も外出する機会がかなり減った様を感じる。特に札幌は冬になると余計に自宅にこもりがちになるかと思う。今後はSNSを利用したサービスを拡充させて手軽に情報や交流が得やすい環境整備が望まれる。
- コロナ禍なので手助けしたいと思っても、その人が嫌がるかもしれないので、その人が手助けを必要としているなら「手助けしてほしい」という意思表示のカードなどを作って、提示するようにしてくれれば助けやすい。
- コロナウイルス感染の最中において障がい者への支援がどう行われているのか。そのこと自体が知らされていないように思われる。
- マスクをしていることで支援が必要な方なのかも、わからないことが増えた。ヘルプカードの充実など、もっとわかりやすくする必要がある。
- 外出しやすい環境の整備。飲食を楽しみとする方が利用しやすいドライブスルー環境の整備。障がいの重い方がコロナ感染した時に個別で利用できる病床の整備、拡大

問 34 その他ご意見やご要望があればご記入ください。【自由記述】

自由意見については、152件（回答件数925件の16.4%）の回答が寄せられた。回答の一部を以下に抜粋する。

- ヤングケアラーについて本人も含め社会にあまり知られていない事が多いように思う。相談できる所、支援を望む。
- 健常者が障がい者用のスペースに車を止めていたりするのをよく見かける。困る人がいるという意識が薄いのだと思うので、そういった人達にきちんと理解してもらう方法を考えて欲しい。健常者が我慢するのではなく共存できるようになったら良いと思う。
- 歩道の点字ブロックは冬場に全く機能していないと思う。雪国のメンテナンスは費用などを考えると難しい。札幌市は大変な中少しずつ良くなってきていると思う。
- 障がいのある人へ対する偏見がなくなるよう対応しようとする意識が向上するといいなと思う。冬道が危ないので冬季の取組が気になる。一軒家に住む方のために除雪をする等、業者の足りないときは近所での協力が必要だと思う。
- ひとつの機関ではなく複数の機関で役割分担をし、支援ができる体制を構築して欲しいと思う。